



# 農産物の高付加価値化や6次産業化の推進

平地農業地域

エスエヌティーみどりのかい ふくおかけんゆくはしし  
SNT緑の会 (福岡県行橋市)

- 本会は行橋市の北東部に位置し、下崎地区・長尾地区・鳥井原地区の3集落で活動をしている。
- この地域の営農組合が「安心・安全」な無農薬の菜種を栽培し、収穫後のほ場で減農薬減化学肥料米を栽培している。栽培した菜種は搾油し菜種油「菜種の園」、米は「なの花っ子」として商品化している。

## 【R3地区概要】

- ・認定農用地面積63.3ha (田61.9ha、畑1.4ha)
- ・資源量 水路6.5km 農道13.4km
- ・主な構成員 農業者、営農組合 非農業者、自治会、子ども会等
- ・交付金 約3百万円

農地維持支払  
資源向上支払(共同)

## 活動開始前の状況や課題

この地域では、平成15年から営農組合が農地の管理を行い、農地を守ってきた。菜種の栽培を行ったところ景観が素晴らしく、また、油にしても良かったので、栽培を継続することとなった。

しかし、高齢化が進み、営農組合だけで農地を維持管理や菜種の栽培を継続することが難しくなってきた。

## 取組の内容

平成26年に営農組合だけでなく地元住民等も加わったSNT緑の会を設立し、多面的機能支払交付金を活用するようになった。

SNT緑の会が農地の維持管理を担い、営農組合が菜種や米の栽培を行っている。



## 取組の効果

○多面的事業を活用することによって、農地の維持管理を適切に行い、耕作放棄地を作らない、大自然の美しさ、四季折々の素晴らしさを次世代に引き継ぎ支えあい、農業・農村の再生を図っていく効果があった。



○100万本の菜の花が満開になる春には「菜の花まつり」を開催し、地域内外を問わず多くの人達でにぎわう。

